

平成 30 年度第 2 回防府市図書館協議会

日時：平成 30 年 11 月 9 日（金） 午前 10 時～午前 11 時 30 分

場所：防府市役所 1 号館 3 階第 1 会議室

■出席者

（委員）藤村会長、安光副会長、山本委員、河村委員、河村委員、新田委員、
山崎委員、吉武委員、津田委員、山本委員（計 10 名）

（事務局）江山教育長、原田教育部長、河田教育部次長、原田教育総務課長、
森川図書館長、徳永図書館管理室長

■傍聴者 なし

■議事録

○事務局

定刻になりましたので、ただ今から「平成 30 年度第 2 回 防府市図書館協議会」を開催いたします。

（会長・副会長選出）

互選により、会長を藤村委員に、副会長を安光委員にお願いいたします。

それでは、防府市図書館協議会規則第三条第 1 項に、「会長は会議の議長となる」と定めておりますので、これからの会議につきましては、藤村会長に議事進行をお願いいたします。

○議長

まず、議事に入る前に、この会議の公開についてでございますが、一般的にこのような会は、公開で行われておりますので、本委員会も、公開の形で進めさせていただきたいと考えております。

また、委員名簿、会議の記録につきましても、要旨をホームページで公開したいと思いますが、会議中の発言個人名は公開いたしません。

併せて、委員の名簿も公開することになりますが、発言個人名は公開いたしません。会議及び会議記録の「公開」につきまして、ご了解いただけますでしょうか。

（異議なし）

ありがとうございます。それでは、会議および会議記録につきましては、「公開」で進めてまいります。

それでは、これより議事に入ります。まず、「議題（1）平成30年度事業実施状況について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局

平成30年度の事業計画につきましては、昨年度2月の図書館協議会で報告させていただきました。その計画に基づいて、現在図書館の事業を行っております。今回は、9月末現在までの事業の実施状況について、図書館長から御説明いたします。

○館長

あらかじめ、資料をお読みいただいているという前提で、主に今年度の新規事業を中心に説明をまいります。各項目名については、時間の都合上、いちいち文章を読み上げずに、数字番号で御説明をまいります。

1-（2）ですが、事業実施状況の上から3行目、これまで行政関係図書紹介は、不定期で年2回程度の刊行でしたが、今年度から季刊でA4版の両面（2ページ）での発行を続けていきたいと思っております。

それから、下から3行目、10月4日の図書館独自の消防訓練を行いました。これまではルルサス防府の消防訓練を消防法に基づいて実施しており、それに参加しておりましたが、より実効性のある危機管理体制を強化するために必要な知識を身に付けていくために、今年度から年2回、図書館独自に実施することとしました。これまでのルルサス防府全体の消防訓練に比べまして、より中味の濃い、そして実践的な訓練ができたと思っております。

つぎのページ（3）、事業実施状況の3行目から最後までですが、移動図書館車が周期的に回る巡回サービス、出張サービスを今後も増やしていき、移動図書館車を市民の皆様親しんでいただきたいと思っております。

（4）については、事業実施状況の1行目ですが、このレファレンス協同データベースに参加することにより、より高いレベルのサービスの展開ができるものと確信をいたしております。これまで、館単独ではなかなかできなかったサービスの分野まで入っていくことができると考えております。

それから、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧及び複写業務については、防府図書館の資料以外に、約200万点の資料を閲覧、複写できるというサービスでございますので、今後も更にこのサービスのPRに努め、より多くの利用者に利用していただきたいと思っております。

上から5行目ですが、今年度は、「新一年生向け本のご案内」というブックリストを作りまして、関係各所に配布しております。これから学校にあがる子ども達に向けて、図書館の本を利用してもらうための案内を、ブックリストを利用して進めてまいりたいと思っております。

2-（2）の実施状況ですが、今年度も「図書館ボランティア養成講座」を開催

いたします。現在、準備を進めております。

4- (2) で、防府史料の発行で取り上げた若月保治は、防府の西浦の出身で、大正2年に「青い鳥」をメーテルリンク本人から直接、翻訳・発行権を得て、訳した人でございます。後に、近松浄瑠璃・古浄瑠璃、歌舞伎の研究に入りまして、日本の近世演劇研究に多大な功績を残した人として知られております。

5- (1) 学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書貸出を行いました。9月末現在で、件数は125件、貸出冊数は1,583冊でした。

(2) 防府市文化振興財団内連携部会会議を毎月1回開催し、財団内での連携について、会議を行いました。そして、資料展示やイベント等で、防府市文化振興財団内のアスピラートやソラール、山頭火ふるさと館と連携企画を実施しました。

現在、アスピラートにおいては、「山下清とその仲間たちの作品展」が開催されておりますけれども、この作品展では防府図書館所蔵の古い新聞が、かつて山下清が防府を訪れた際の関係資料として展示してあります。また、防府図書館内では、ミニ展示「画家山下清の世界」を10月5日から19日まで開催いたしました。

それから、ソラールとの連携事業については、「ネイチャーテクノロジー展」10月16日から12月2日までの日程で行われていますが、図書館内でミニ展示を行いました。特別講座にも図書館職員が参加しております。そして、現在、「紅葉どんぐり便」の募集をいたしております。11月1日から23日まで、防府図書館窓口、移動図書館車でも受付をしております。これらに関する連携のための準備作業を9月末現在の段階で行っております。

6- (1)、新規の事業といたしまして、下から2行目ですが、イオン防府店で「ほうふとしょかん出前おはなし会」を4月から毎月1回第3日曜日に、家庭の日の読書イベントとして行っております。第2次防府市子ども読書活動推進計画の項目もふまえて、第3日曜日に家庭の日の読書イベントとして行っているところです。

(2) ですが、今後も、図書館内で活動していらっしゃるボランティアの皆様と連携して、図書館職員によるブックトークを実施して参りたいと思っております。各行事の中にブックトークを組み入れていただいて、読書普及活動、読書推進活動につなげて参りたいと思います。

7- (2) 障害者や高齢者のための、リーディングルーペとリーディングトラッカーを導入いたしました。本日、机上に用意している図書館だよりの6月号に記載しておりますように、半円柱型のレンズです。倍率は2倍で、細かい文字や文章を読むのに最適なものです。中央にカラーのラインがあり、ラインと文

字を重ねることにより1行ずつ読み取ることができます。また、リーディングトラッカーについては、視覚障害のある方、視野狭窄や黄斑変性のある方などに、読書をサポートする道具であるとともに、集中して読書をしたい人にも便利な道具です。人によって、読みやすい色が異なるため、防府図書館では4色を用意しております。今、実物を回しておりますので、ぜひお試しください。

7- (3) ボランティア団体と連携協力して、布絵本、点訳資料、音訳資料を制作しております。ボランティア団体の皆様の御協力により、これらの資料が少しずつ増えて、図書館の利用に供されております。また、認知症にやさしい図書館として、ボランティア団体との連携協力を進めておりまして、職員も認知症に関する講演会や研修会に積極的に参加して、調査研究を進め、今後の図書館サービスに活用していきたいと考えております。

報告は以上でございます。

○議長

ありがとうございました。

それでは、今の御説明に関しまして、御意見や御質問がございましたら、よろしくお願ひします。

○委員

2 ページですけれども、国立国会図書館のレファレンス共同データベースへの参加登録をすることによって、具体的にどういうメリットがあるか聞きたいのですが。

○館長

レファレンス共同データベースには、実際に他の図書館で行われたレファレンスサービスの事例が紹介してあります。そういうものを参考にしながら、これまで自分たちの知識の範囲では、なかなか対応できなかったところを、他館のレファレンス事例を参考にすることによって、より内容の濃い、的確なサービスが提供できるということです。防府図書館でもレファレンス事例集を作っているのですが、それだけでは数や資料に限りがあるわけです。その中で、データベースを使うことによって、他の公共図書館あるいは大学図書館等でどういうレファレンスサービスが行われたか、どういう資料を使ってレファレンスサービスをしたかということなど、実際の事例を文章で見ることができたり、資料を知ることができたりすることによって、レファレンスサービスが向上するということです。併せて、ここにありますように、防府図書館では、図書館向けデジタル化資料送信サービスも活用しておりますので、今現在、防府図書館にある48万冊程度の本以外にも、国立国会図書館の200万点のデジタル資料を活用して、レファレンスサービスができるということです。これにより、より充実したサービスができるということになります。

○委員

デジタル化資料の中には、新聞資料等も入っていますか。

○館長

新聞とか、論文とか、古いものですね。絶版等になったものもあります。書籍ではありません。

○委員

以前、古い新聞を調べる時に、古いものですから取扱いに細心の注意を払いながら調べたので、これが活用できればいいなと思い、質問いたしました。

○委員

レファレンス共同データベースということで、少しお伺いしたいのですが、私も参加しなくても見ることができるので、参加すればレファレンスの実績を載せるということができるのでしょうか。

○館長

そうですね。

○委員

そうであれば、レファレンスの研修の意味もあるのではないかと思ったのです。自分たちが自らのレファレンスサービスを行った実績を登録するということは、自分たちのレベルもかなり上げていかないと難しいと思うので、今の説明だったら、使うことばかりの話だったように思うのですが、それにアップするというをしなくてはならないから、研修という研鑽をするという意味で、私は受け取っておりました。

○館長

はい。もちろん、そういう要素も多分にあります。事例を載せるか載せないかということは、それぞれの図書館の判断の委ねられるのですが、防府図書館での事例を載せて、他の図書館の参考にしていただくことも考えております。

○議長

従来は、これに参加している図書館は、都道府県立図書館等、大きな図書館が多かったと思うのですが、これに防府図書館も参加するということですね。

○館長

はい。

○議長

他にありますか。

○委員

私たちの青少年育成市民会議では、現在、家庭の絆・地域での絆が薄れている中で、第3日曜日「家庭の日」を大切にしようと、各校区にある健全育成協議会と連携しながら、いろいろな事業を実施しております。先ほど館長からの

御説明の中で新規の事業として、第3日曜日に子どもたちの読書活動を進めていくイベントを実施しているというお話を聞き、とてもありがたく感謝しているところですが、更に参加者が増えていくことを期待しております。今後とも、よろしくお願ひします。

○委員

まず、項目2番のところ、防府市こども読書フェスティバルが、昨年221人が304人にまで増えているのは、いろいろと図書館がご尽力をいただいた賜物だと思っております。

そして、ビブリオバトルにいたしましても、5月はずいぶん人数が増えており、PR活動が浸透してきた結果だと思っております。

併せて、5番の学校図書館オンライン・ネットワーク・システムにつきましても、昨年度は1年間で143件、1,598冊だったものが、今の9月段階で125件、1,583冊というのは、半年で昨年度分の実績をあげているということで、これに関しましても、学校図書館との連携に御尽力いただいていると思います。御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

それで、1つ質問なのですが、29年度は項目の2番に入っておりました、防府図書館利用者懇談会が、30年度を作るときに項目の3番に動いているということは、利用者懇談の中味や対象者の変更があつて、移っているのでしょうか。

○館長

利用者懇談会の内容の変更はありません。どこの項目に入れるのが、適切かということ考えたときに、こちらに変更になつたということでございます。どの項目に入れるのが、最も適切なことなのかを考えての変更です。特別な意味はありません。

○委員

先ほど、中学校校長会からありましたとおり、小学校にも学校図書館はありますが、さらに巡回で回っていただいていることなど、子どもたちが図書に親しむ機会をいただき、ありがとうございます。

実は、学校では子どもたちの読書離れが問題になつていて、各学校のチャレンジ目標の中に読書を入れていたり、研究課題の中に「書く」とか、「読む」とかいったことを主題や副題に入れていたりします。先生方は忙しいため読書ばかりとはいかないのですが、先生方もかなり読書に目を向けておられますし、家庭での啓発ということが進んでいます。

山口県の読書感想文の審査が先日ありまして、防府市からたくさんのお応募があつたのですが、教育長賞に右田小学校の児童、最優秀に富海小学校の児童、それから牟礼小学校の児童と、全部で11名中3名の児童が防府市内から選ばれていることと、学校賞に松崎小学校、優良校に右田小学校が選ばれています。

会議に出席しましたが、防府市に対してお褒めの言葉をいただいております。ただし、当然課題もある訳で、しっかり読んでいるけれども、上手に表現できないなどの課題もいただいておりますので、今後、より一層、読書活動を推進していきたいと学校では思っておりますので、今後とも御協力をお願いします。

○議長

今年度、匿名の寄附がありまして、図書費の予算が増加していると思いますが、図書費がいくらになりましたか。

○館長

500万円の寄附がありまして、元々の予算であります2,500万円にプラスして、3,000万円の資料費でございます。消耗品である新聞や雑誌とは別に、備品として備え付けつける資料費が3,000万円で、新聞や雑誌は400万円ちょっとでございます。

○議長

そういう風に資料費も増えて、その整理もしていかないといけないわけですが、2-(3)に出ている移動図書館車の臨時出張サービスを度々なさって行かれるようですが、職員は大変なのではないですか。あと、イオンでのおはなし会はいかがですか。

○館長

積極的に外へ出て行ってサービスをする、あるいは研修等にも積極的に参加していくというのは、防府市文化振興財団になってからは、基本的な考え方になっております。職員のローテーションを良く考えながら、無理のない範囲で、積極的に出張サービスを進めてまいります。移動図書館だけでなく、おはなし会や勉強会なども含めたサービスは、今後も増やしていきたいと思っておりますし、また研修活動にも意欲的に取り組んでいきたいと考えております。

○議長

その他、ブックトークなども回数が多くなっておりますし、職員も限られた人数の中で中々大変かと思っておりますが、意欲的に頑張っていただければと思っております。

他にございますか。

それでは、新しい委員さんもおられますので、日頃図書館を使っておられること、感じておられることを簡潔にお願いします。

○委員

おはなし会を30何年間もやってこられたのは、図書館の積極的な支援があつてこそだと感謝しております。

防府図書館は、「お話のへや」という限られた部屋があります。他の図書館にも、おはなしをするような場所といったものはあるのですが、ドアを閉めて限

られた空間にあるというのは、長門市以外では、あまり見たことがありません。やはりドアを閉めて、絵本を読んだりお話をしたりできる場があるのは、大変ありがたく思っております。

そこで、いくつか質問ですが、2- (2) 図書館ボランティア養成講座をされるということで、ボランティアというのは、どのような方を養成するのか想定していらっしゃるかをお聞きしたいのですが。

○館長

この図書館ボランティア養成講座は、かつては、おはなしボランティア養成講座でございました。本来的には、読み聞かせとかおはなし会をする児童サービスのボランティアの養成を考えてきたのですが、最近になって、それ以外のボランティアをしたいという方も出てきたので、当初からの児童サービスをするボランティアの他に、様々なボランティアをしたい方にも対応するために、座学を中心にした基本的な知識等を含めたものにしております。当初からの児童サービスボランティアというものには変わりはないのですが、今後、そういうことを踏まえながら、内容に少しずつ工夫をしていきたいと思っております。

○委員

ボランティアの方が制作された布絵本や点訳資料もありますが、実際にどの程度貸出があり、どのように利用されているかお聞きしたいと思います。

○館長

布絵本の貸出数につきましては、今、手元にある資料に布絵本だけの貸出数がございますので、改めて報告いたします。実際、図書館では貸出しもしております。

○委員

送付資料の中に、障害がある方に対してのボランティアの中に、私が関わっているストーリーテリング「陽だまりの会」が入れてありました。これは、とてもありがたいことで、ストーリーテリングは障害のある方にも十分楽しんでいただけるお話を伝える手段なのですが、これを利用したい方がどのような形で、どの程度ご存知でしょうか。要請や問い合わせ等がありますか。

○館長

障害がある方がボランティアについて御存じかということですが、要請や問い合わせは、電話や窓口であります。頻繁ではありません。

ただこちらとしては、広く周知したいので、ホームページなどで障害のある方へ向けてアピールしています。

○議長

では、次の委員の方、お願いします。

○委員

私は、朗読だけでなく、障害者の音訳にも関わっています。いつも市広報を音訳して、それを図書館の窓口にもCDで1日号と15日号を置いていただいています。それを毎月返していただくのに、時々うまくいかなくて、この度から音楽CDに変えましたので、図書館で破棄していただけるようになりました。利用者の方には、聞いていただいていると思いますが、窓口でも協力していただけると助かります。

昨年、音訳CDの件については、広報にも載せていただいておりますので、少しずつPRができていますので、利用が増えてくると思います。

そして、私もいろいろなことに協力はしていますが、図書館の中にある録音ブースですが、せっかく作っていただいているので、利用していかなくてはならないなと思います。私たちが要望すると、図書館にはいつも対応していただいています。ありがとうございます。

○館長

障害のある方へのサービスについては、もう少しPRをしていかなくてはいけないと思っております。ホームページでも、情報を随時更新したり、内容を追加したりしておりますが、まだ十分ではないという気もしますので、さまざまな形で、今後、障害のある方へのPRを強化していかねばならないと思います。

○議長

先ほどの説明の中でも、上山満之進翁没後80年展のことが出ましたが、その際に展示された台湾の陳澄波の絵画の件で、来秋、図書館へという話が出ていますね。議会でも話題になりましたし、新聞等でも取り上げられております。図書館に置くとすると収蔵室など、絵自体の保存管理上の問題もありますし、警備上の問題など危機管理上の問題も出てくるかと思っております。委員の皆様方も詳しい事情が分からないことがあると思っておりますので、教育委員会の方から経緯を簡潔に説明してください。

○事務局

今おっしゃられた上山満之進の絵は、元々、防府図書館の前身であります三哲文庫を上山満之進に御寄付いただいた際に、併せていただいた物です。この絵画は、上山翁が台湾総督を去る際に、当時の台湾の画家で陳澄波に依頼して描いてもらったものです。正式名称は「東台湾臨海道路」というもので、新聞等に掲載されたこともありますので、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、その絵が今度、帰ってくるということです。この9月議会に市長から一般質問の回答で、公言したものです。

三哲文庫ができた当初から、この絵自体は三哲文庫の閲覧室の壁面に飾られていたということを聞いております。それで、その後昭和56年に桑山の旧図書

館に図書館が移転し、そこでも参考室の壁面にずっと飾られていました。平成18年に図書館がルルサスに移転した後は、壁面があまりなかったということもありましたので、収蔵庫の中にいれておりました。それで、一般の方には、あまり目に触れる機会がなかったということです。

これ自体がなぜ福岡アジア美術館に寄託されたかといいますと、平成27年当時に図書館サービス振興基本計画にもあるように、上山満之進の顕彰事業をやっております。それで上山翁の伝記を発行する際に、児玉さんに調査をお願いしていたのですが、調べていく過程で、この絵が台湾の画家陳澄波に描いてもらったものであると分かりました。同じ頃にインターネットで陳澄波の作品自体が台湾や中国で高値の売買があり話題になったということがありました。

当時の防府図書館では、管理上、防犯体制等で絵の保管には不十分であるということで、専門的な機関を探して、寄託できないかということになりました。その結果、平成27年12月に福岡アジア美術館へ寄託をしたというのが、経緯でございます。寄託の際に修復も必要だということで、平成28年度中に修復をしたのですが、寄託中、平成29年12月頃まで福岡アジア美術館で展示もしております。修復の件について議会に議案を提出した際に、修復が終わったら防府でも見ていただくことを話しておりましたので、平成30年の5月の約1ヶ月間、アスピラートの2階展示ホールで上山満之進の関係資料の一部として、絵画も展示したものです。

絵の展示を今後どうするかということ、9月議会で市長は、来年が上山満之進生誕150年にあたり、生れたのは9月の末で、その時期に合わせて、ゆかりのある図書館が絵の展示にふさわしいということ、を公言されましたので、教育委員会でそれに向けて進めているものです。ただ内容につきましては、セキュリティの問題等も含めて、専門のセキュリティー会社に相談をしながら、現在進めています。先ほど、サービス振興基本計画の上山翁の顕彰にもあるように、図書館の展示室でいろいろな資料を展示しております。ベースは展示室ということになりますが、今現在、防犯カメラもないし、それ以外のセンサーも不十分だということもありますし、図書館自体の構造も、警備が不十分なところもあり、運用上変更が必要なところは変更をしていただくなども含めて、検討しているところでございます。

○議長

いずれにしても、現場の意見も尊重しながら慎重に検討していただければと思います。よろしく申し上げます。

それと、もう1つ今年の夏が大変暑かったというのもあるのですが、図書館の研修室のエアコンがあまり効かないのです。当初からあまり効かなかったのですが、近々は暑いせいもあるかと思っておりますけれども、講座を主催されている

先生や講演会で来られた先生方からも、ちょっと暑いのではないかという御意見も出ております。

修繕するとなると、まず、調査もしないといけないと思いますし、機械的に変更するには、かなりの金額になると思いますが、御検討いただければと思いますが、いかがですか。

○事務局

なかなか対応が十分でないところがあるかと思います。今年の夏は暑かったということで、小・中学校の方でもエアコンの設置がいられております。図書館の研修室のエアコン自体は、当初から効きが悪かったとかいうこともあるらしく、構造的な面も含めて確認をさせていただかないと対応が難しいため、まずその内容の確認をさせていただきたいと思います。ただ、市の財政も厳しいので、すぐすぐに修繕できるかについてはお答えできませんけれども、まず内容の確認をさせていただきたいと思います。

○議長

応急的な処置としては、あそこの部屋だけエアコンをつけるということもできなくはないと思いますので、それも含めて御検討いただければと思います。

あと、全体を通して何かございましたらどうぞ。

なければ、事務局からどうぞ。

○事務局

今回は、今年度第2回目の図書館協議会ということで、次回は来年の2月頃を予定しております。平成31年度、来年度の事業計画について、御報告し御説明する内容になるかと思います。

よろしく申し上げます。

○議長

長時間にわたり、御協議いただきまして、ありがとうございます。本日は、平成30年度第2回目の会議でしたが、今年度事業の途中経過についての説明を受けまして、それについての御協議をいただきました。

今後とも、みなさんの御協議をいただきながら、生涯学習の中核施設として地域の情報拠点として、図書館が充実したものになりますように、御協力をお願いします。

これをもちまして、本日の議題等については、すべて終了しました。

委員の皆様、お疲れ様でした。

○事務局

それでは以上をもちまして、「平成30年度第2回防府市図書館協議会」を終了いたします。皆様、お気をつけてお帰りください。ありがとうございます。

